昭和57年　第791号
4月25日

市報 にいがた

市の人口
	前月比
人口	453,534 (−2,340)
男	222,088 (−1,480)
女	231,446 (− 860)
世帯数	144,282 (− 880)
57年3月末日現在

発行日 毎週日曜日
発行所 新潟市役所
新潟市西堀通6番町
866
電話代表(28)1000
編集人 二宮省三
(担当企画部広報課)
印刷所 (株)第一印刷所

5月3日憲法記念〝市民のつどい〟

見つめよう憲法を

―暮らしのなかに生かそう みんなの憲法―

水上勉先生が講演

五月三日は憲法記念日です。市では、毎年この日に〝憲法記念市民のつどい〟を開催しています。私たちの毎日の暮らしの中に生きている憲法を見つめるための行事で、今年は、作家の水上勉先生をお招きして講演していただきます。

今年は昨年の国際障害者年を受けて長期的な行動を展開する最初の年に当たりますので、障害を持つ人をめぐるさまざまな問題について深い関心をお持ちの水上先生から講演していただきます。

日時 五月三日午後一時～四時

会場 市音楽文化会館

入場料 無料。ただし、入場には整理券が必要です。整理券は、市本庁舎案内および各地区事務所に用意してあります。枚数に制限がありますので、お早めにおいでください。

講演 「人間について」

講演のほかに、ハンディキャップレクリエーション研究会によるレクリエーション紹介があります。

水上勉先生の略歴

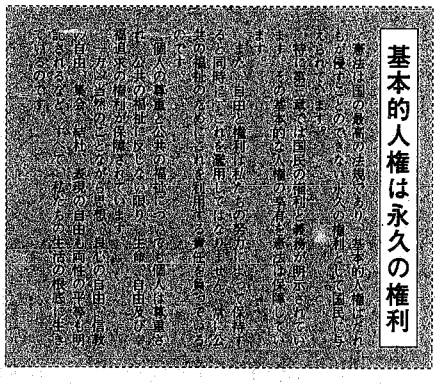
小説家。大正八年福井県生まれ。

次女直子さん（二十歳）が脊椎（せきつい）破裂症を病んだために、障害を持つ人をめぐる問題を訴えた次の著書がある。

「拝啓総理大臣殿」、小説「くるま椅子の歌」「生きる日々」

その他代表作品として、「雁の寺」（第45回直木賞）、「飢餓海峡」、「宇野浩二伝」（第19回菊地寛賞）、「一休」（第11回谷崎潤一郎賞）など多数。

基本的人権は永久の権利



今年も憲法記念日がやってくる。昨年も書いたのだが、私たちのくらしと憲法とのかかわりあいは、ちょうど空気のようなもので、これがないと生きていけないのだが、しかし、いつもはその存在を意識はしていない。

それと同じように、私たちのくらしは法律などで守られているものだが、その由来しているものが憲法であることを、なにか「こと」でもないと考えないのが一般的である。「こと」が絶えず起きるようでは困るのであるが、一年に一回はこの国の基本法である憲法を読んでみて、私たちのくらしや平和のことなどを考えてみたいのである。

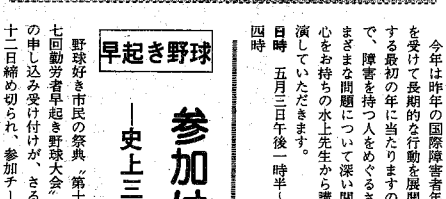
憲法が制定されてから三十五年、この間私たちの生活は豊かになり、反面いろいろの困難な問題やイヤらしい現象などが次から次へと起きてはいるけれども、あのいまわしい戦争以来日本は表面はまことに平和である。

それだけに憲法の存在を忘れそうになり、特に戦争を知らない世代が多数になった現在、この憲法が敗戦の結果、「基本的人権の尊重」「国民主権」「平和主義」を原理として生まれたことを、身につまされて知っている人たちが次第に減ってくることを考えると、例えば空気が汚れてくればすぐ対応するように、この憲法の原理に背くような事象が起きてもそのようなことになるのだろうか、いささか気になっているのである。公害に対してはたしかに実に敏感になった。それは自らの生命や環境を安全、良好な状況にしておかなければならないということを、ここ十数年の間に実物でよく知ったからである。

いま「核廃絶」への草の根的うごきが大きくなっていることをマスコミは伝えている。「ヒロシマ」を繰り返したらどうなるのかを、唯一の被爆国民である私たちは、「平和主義」のもとにこのことを考え、それを世界の人たちにも伝える責任があると思う。今年の憲法記念日はこんな状況の中でやってくる。

憲法記念日を迎える

新潟市長



早起き野球

参加は937チーム

―史上三番目の大会に―

野球好き市民の祭典〝第十七回勤労者早起き野球大会〟の申し込み受け付けが、さる十二日締め切られ、参加チームはこれまで最高の昨年を七チーム下回る、九百三十七チームとなりました。

部別では、職域の部五百四十七チーム、クラブの部三百三十チーム、壮年の部六十チーム。昨年を下回ったものの史上第二番目のマンモス大会となります。

今年の申し込みも、例年通り出足しが鈍く、最終日に全体の三分の二のチームが殺到するという駆け込み申し込みとなりました。

四月二十日午後六時からは抽選会も行われ、対戦相手も決まりました。

大会は五月九日の開会式を皮切りに、八月上旬まで二十会場で三カ月にわたる熱戦が繰り広げられます。

県知事選挙

きょうは投票日です
あなたの大切な一票を！
投票時間は午前7時から午後6時まで
お忘れなく

国民年金保険料

今月が納期です

国民年金保険料の一期（四・五月分）の納期限は四月三十日です。お忘れのないように。保険料を金融機関から口座振替で納付されている方は、預金額に不足のないようお確かめ下さい。

代理人による印鑑登録

―5月1日から 印紙は不要―

市では、印鑑条例の一部改正を行いました。これにより、印鑑登録を代理人によって行う場合、従来は二百円の印紙を貼付した委任状が必要でしたが、五月一日からは、印紙不要の代理権通知書（市民課、各地区事務所にあります）の添付で申請ができます。

戦没者の遺族に特別弔慰金

戦没者の遺族に特別弔慰金として、十二万円の国債（六年償還）が支給されます。

次の条件に該当する人は、五月七日までに市福祉課（本庁六階）へ手続きをしてください。

▼昭和六年九月十八日以降に戦没した人の遺族で、遺族年金、公務扶助料などを受けていた人が、昭和五十年四月一日から昭和五十四年三月三十一日までの間に、死亡などにより、それもいなくなった遺族（戦没者の子、または兄弟姉妹など）。

▼公務上または勤務に関連した傷病により死亡した旧陸海軍部内の判任文官等（従軍文官、事務官、警部、技手、通訳など）の遺族で、昭和五十四年四月一日において公務扶助料を受けている遺族がだれもいない。

詳しくは、市福祉課（☎28―一〇〇〇、内線四六八）へ

- 4月29日(水)と5月3日(月)は、全市のごみ収集を休みます。
- 5月5日(水)は、普通ごみのみ収集を行います。普通ごみ収集が月・水・金地区に当たる地区の皆さんは、ごみ出しマナーを守ってステーションに出して下さい。ただし、分別ごみ・粗大ごみの収集はありません。

ゴールデンウィークのごみの収集

おもな目次

◆市報にいがた」のアンケート調査まとまる（二面）
◆光化学スモッグ緊急時即応体制に（三面）
◆「今日のハバロフスク地方展」開催中（四面）

おりづるコンサート入場券発売中

日時 5月16日午後1時～

会場 県民会館大ホール

入場料 五百円（入場券はボランティアビューロー、大和デパート、ダイエー、ジャスコのプレイガイドで発売中）

動く市政教室参加者募集

日時 4月30日午前9時20分までに市役所中庭へ集合

コース 市役所～国際友好会館～水質管理センター～青山浄水場～園芸センター（昼食、見学）～中部下水処理場～市役所（午後3時到着）

定員 45人（先着順）

持参品 昼食

参加料 無料

申し込み 電話で市民相談室（☎28―1000、内線238～240）へ※4月26日午前8時半から受け付け

祝日も開館します

～市郷土資料館～

今年度も4月から11月いっぱいまで祝日も開館します。なお、毎週月曜は休館（月曜が祝日の代替日に当る場合も）します

園芸センター催し物

時間 午後1時15分～3時15分
会場 市園芸センター研修室
定員 それぞれ50人（先着順）
申し込み 本日から電話で市園芸センター講習会係（☎86―1034）へ

〈盆栽講座〉
期日 4月30日
テーマ クロマツの植え替えと樹形作り
持参品 せん定ばさみ、教材費800円

〈観葉植物講座〉
期日 5月1日
テーマ 観葉植物の育て方

〈庭木講座〉
期日 5月2日
テーマ 春の庭木の手入れ

〈鉢物講座〉
期日 5月3日
テーマ 盆栽鉢物の手入れ

―春の植木市―
日時 5月1日～3日午前9時～午後4時半

第9回勤労青少年の日記念野球大会

参加チーム募集

試合 5月30日～6月20日（毎週日曜日）
参加資格 市内の中小企業に働く青少年
募集チーム 32チーム（先着順）
参加費 1チーム4,000円
申し込み 5月15日まで参加費を添え、市勤労青少年ホーム（古町13、☎22―2728）へ

ゴールデンウィーク(4/29～5/5)
市立図書館の開館・休館のお知らせ

休館日 4月29日・30日(月末図書整理)
5月3日・4日(日曜開館の代休)・5日
開館日 5月1日・2日(日曜開館)
※図書返却日にも変更がありますのでご注意下さい。5月6日から平常運営になります